保護者の皆様へ　　教育長メッセージ

教育長就任のごあいさつ

１０月１日付けで教育長に就任いたしました細川恵と申します。

私は、昭和５９年にこの相模原市の中学校保健体育科教員として採用され、以来、小中学校、教育委員会の学校教育部に勤務をしていました。

直近では、令和元年度から４年度まで学校教育部長を務め、その後、本年９月３０日まで市立中学校にて校長職を務めておりました。勤務校では、個別最適化した学びの実現に向かう授業改善、生徒の自己肯定感を高め主体性を育てる生徒会活動、多様な生徒たちを理解し、その発達を支持する生徒指導及び生徒支援の促進、今日的な課題となっている不登校生徒が、安心して自己実現に向かう学びの場の保障の４つの視点を柱とした支援教育の推進に、教職員とともに学びを深め、知恵を出し合いながら取り組んでまいりました。あわせて、そうした教育に最前線で尽力する教職員の働き方改革に創意工夫してまいりました。

子どもたちの学びの環境に目を向けると、昨今の猛暑の影響により屋外での授業を中心に学校活動への制約が大きくなっていることを実感しています。本市では、令和１０年の夏までに、全ての小中学校等の屋内運動場・特別教室へ空調を設置することを目指して取組を加速化しており、学校現場の苦労を身をもって感じている私の思いも込め、空調設置が着実に進むよう取り組んでまいります。また、多くの学校で校舎の老朽化が進み、雨漏りやトイレの洋式化への対応も重要な課題と感じており、安全で快適な学校となるよう取組を進めてまいりたいと思います。

一方で、全員喫食に向けて取り組んでいる中学校給食については、(仮称)南部学校給食センターの事業スケジュールの見直しが必要となり、楽しみにしていた令和８年１２月の給食提供開始が、一部の中学校では困難となってしまいました。詳細は、学校給食ニュースでお知らせしてまいりますが、少しでも早く、あたたかくて美味しい、生徒の皆さんが心待ちにするような給食を届けられるよう、安全安心をしっかりと確保しながら取り組んでまいります。

このような課題も抱える中、今後、これまで教育現場及び教育行政で培ってきた私の知見をいかすとともに、さらに視野を広げ、学校教育のみならず、地域で展開している生涯学習にも目を向けて、奢らず、学ぶことを続けつつ、本市が目指している「誰一人取り残さない教育」の実現に関わる全ての人たちとの対話を大事にしながら、全力で取り組んでまいりたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和７年１０月　　相模原市教育委員会　教育長　細川　恵